

入札者名	
工事番号	
工事名	

評価分類	評価項目	評価基準	配点	自己採点	市の採点	得点
① 企業の施工実績	平成●年度以降（過去15年間）に発注された同種工事の施工実績の有無	（発注規模）以上の（指定する工事（工種））の元請け実績あり	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
		（発注規模の●/●）以上の（指定する工事（工種））の元請け実績あり	1.0			
		（発注規模の●/●）未満の（指定する工事（工種））の元請け実績あり	0.5			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	瀬戸内市が発注した●●工事のうち、令和●年4月1日から令和●年3月31日までの間（過去5年間）に完成させた工事がある場合、それらの工事についての瀬戸内市建設工事成績評定及び通知要領による評定点の平均点	78点以上	3.0	/3.0	/3.0	/3.0
		76点以上 78点未満	2.5			
		74点以上 76点未満	2.0			
		72点以上 74点未満	1.5			
		72点未満又は実績なし	0.0			
	小計		/5.0	/5.0	/5.0	
② 配置技術者の能力	平成●年度以降（過去15年間）に発注された同種工事を監理技術者、主任技術者として施工した実績の有無	（発注規模）以上の（指定する工事（工種））を施工した実績あり	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
		（発注規模の●/●）以上の（指定する工事（工種））を施工した実績あり	1.0			
		（発注規模の●/●）未満の（指定する工事（工種））を施工した実績あり	0.5			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	瀬戸内市が発注した●●工事のうち、令和●年4月1日から令和●年3月31日までの間（過去5年間）に監理技術者又は主任技術者として完成させた工事がある場合、それらの工事についての瀬戸内市建設工事成績評定及び通知要領による評定点の平均点	78点以上	3.0	/3.0	/3.0	/3.0
		76以上 78点未満	2.5			
		74点以上 76点未満	2.0			
		72点以上 74点未満	1.5			
		72点未満又は実績なし	0.0			
	主任技術者又は監理技術者の保有する資格	（建設業の種類ごとに国土交通大臣が定めた一級国家資格）の資格取得後5年以上	1.0	/1.0	/1.0	/1.0
（建設業の種類ごとに国土交通大臣が定めた一級国家資格）の資格取得後5年未満2年以上		0.5				
上記のいずれにも該当しない。		0.0				
令和●年4月1日から令和●年3月31日までの間（過去1年間）に一般社団法人全国土木施工管理士会連合会が運営する継続学習制度（CPDS）における学習の実績	取得した単位数（ユニット数）が10ユニット以上	1.0	/1.0	/1.0	/1.0	
	上記のいずれにも該当しない。	0.0				
小計		/7.0	/7.0	/7.0		
③ 企業の体制	ISO9001又はISO14001の認定取得の有無	ISO9001及びISO14001の両方を取得	1.0	/1.0	/1.0	/1.0
		ISO9001又はISO14001のいずれかを取得	0.5			
		なし	0.0			
	建設機械の保有の状況	4台以上保有し、又は長期リース契約を締結している	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
		2台以上保有し、又は長期リース契約を締結している	1.0			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	開札日時時点で、瀬戸内市発注の総合評価方式による工事のうち、完成・引渡し完了していない工事件数	0件	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
1件		1.0				
2件以上		0.0				
小計		/5.0	/5.0	/5.0		
④ 地域貢献	「瀬戸内市災害時における応急対策業務」に関する協定の締結の有無	締結している	1.0	/1.0	/1.0	/1.0
		締結していない	0.0			
	瀬戸内市消防団への協力の有無	瀬戸内市の消防団協力事業所表示証の交付を受けている、かつ瀬戸内市消防団に1名以上在籍している	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
		瀬戸内市の消防団協力事業所表示証の交付を受けている、または瀬戸内市消防団に1名以上在籍している	1.0			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	過去3年間の市内在住者の新規雇用の有無	あり	1.0	/1.0	/1.0	/1.0
		なし	0.0			
	若手技術者又は若手従業員の雇用の有無	35歳未満の技術者又は30歳未満の従業員を2人以上雇用	1.0	/1.0	/1.0	/1.0
		35歳未満の技術者又は30歳未満の従業員を1人雇用	0.5			
		なし	0.0			
障害者の雇用の有無（個人事業主及び役員が障害者である場合を除く。）	身体障害者、知的障害者又は精神障害者を1年以上継続して雇用	0.5	/0.5	/0.5	/0.5	
	上記に該当しない。	0.0				
瀬戸内市ゼロカーボン推進パートナーの認定の有無	あり	0.5	/0.5	/0.5	/0.5	
	なし	0.0				
小計		/6.0	/6.0	/6.0		
合計（a）				/23.0	/23.0	/23.0
標準点（100点（低入札調査基準価格を下回る入札の場合75点））			(b)			
換算値			(c)	25.0		
加算点（価格以外の評定点の合計を換算値に応じて算出）			(d) = (a) × (c) ÷ 23			
技術評価点（標準点+加算点）			(e) = (b) + (d)			
入札価格（単位：億円（税抜き））			(f)			
評価値（技術評価点/入札価格（単位：億円））			(e) ÷ (f)			

…入札者が記入する欄

入札者名						
工事番号						
工事名						
評価分類	評価項目	評価基準	配点	自己採点	市の採点	得点
① 企業の施工実績	瀬戸内市が発注した●●工事のうち、令和●年4月1日から令和●年3月31日までの間（過去5年間）に完成させた工事がある場合、それらの工事についての瀬戸内市建設工事成績評定及び通知要領による評定点の平均点	78点以上	3.0			
		76点以上 78点未満	2.5			
		74点以上 76点未満	2.0			
		72点以上 74点未満	1.5			
		72点未満又は実績なし	0.0			
		小計				
② 配置技術者の能力	瀬戸内市が発注した●●工事のうち、令和●年4月1日から令和●年3月31日までの間（過去5年間）に監理技術者又は主任技術者として完成させた工事がある場合、それらの工事についての瀬戸内市建設工事成績評定及び通知要領による評定点の平均点	78点以上	3.0			
		76以上 78点未満	2.5			
		74点以上 76点未満	2.0			
		72点以上 74点未満	1.5			
		72点未満又は実績なし	0.0			
	主任技術者又は監理技術者の保有する資格	(建設業の種類ごとに国土交通大臣が定めた一級国家資格)の資格取得後5年以上	1.0			
		(建設業の種類ごとに国土交通大臣が定めた一級国家資格)の資格取得後5年未満2年以上	0.5			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	令和●年4月1日から令和●年3月31日までの間（過去1年間）に一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会が運営する継続学習制度（CPDS）における学習の実績	取得した単位数（ユニット数）が10ユニット以上	1.0			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
小計				/5.0	/5.0	/5.0
③ 企業の体制	ISO9001又はISO14001の認定取得の有無	ISO9001及びISO14001の両方を取得	1.0			
		ISO9001又はISO14001のいずれかを取得	0.5			
		なし	0.0			
	建設機械の保有の状況	4台以上保有し、又は長期リース契約を締結している	2.0			
		2台以上保有し、又は長期リース契約を締結している	1.0			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	開札日時時点で、瀬戸内市発注の総合評価方式による工事のうち、完成・引渡し完了していない工事件数	0件	2.0			
		1件	1.0			
2件以上		0.0				
小計				/5.0	/5.0	/5.0
④ 地域貢献	「瀬戸内市災害時における応急対策業務」に関する協定の締結の有無	締結している	1.0			
		締結していない	0.0			
	瀬戸内市消防団への協力の有無	瀬戸内市の消防団協力事業所表示証の交付を受けている、かつ瀬戸内市消防団に1名以上在籍している	2.0			
		瀬戸内市の消防団協力事業所表示証の交付を受けている、または瀬戸内市消防団に1名以上在籍している	1.0			
		上記のいずれにも該当しない。	0.0			
	過去3年間の市内在住者の新規雇用の有無	あり	1.0			
		なし	0.0			
	若手技術者又は若手従業員の雇用の有無	35歳未満の技術者又は30歳未満の従業員を2人以上雇用	1.0			
		35歳未満の技術者又は30歳未満の従業員を1人雇用	0.5			
		なし	0.0			
障害者の雇用の有無（個人事業主及び役員が障害者である場合を除く。）	身体障害者、知的障害者又は精神障害者を1年以上継続して雇用	0.5				
	上記に該当しない。	0.0				
瀬戸内市ゼロカーボン推進パートナーの認定の有無	あり	0.5				
	なし	0.0				
小計				/6.0	/6.0	/6.0
合計 (a)					/19.0	/19.0
標準点（100点（低入札調査基準価格を下回る入札の場合80点））			(b)			
換算値			(c)	20.0		
加算点（価格以外の評定点の合計を換算値に応じて算出）			(d) = (a) × (c) ÷ 19			
技術評価点（標準点+加算点）			(e) = (b) + (d)			
入札価格（単位：億円（税抜き））			(f)			
評価値（技術評価点/入札価格（単位：億円））			(e) ÷ (f)			

## 【自己採点表への記入時の注意事項】

- 1 入札者は**入札者名欄**と**評価基準ごとの自己採点欄**のみ(黄色のセル)記入してください。  
発注者は評価基準ごとに記入された自己採点欄についてのみ、得点の確認を行うので、小計欄や合計欄に記載された数値は、発注者の確認の対象となりません。
- 2 複数の自己採点表が提出された場合は、記載された自己採点の合計の値が最も低い自己採点表を、発注者の確認の対象として取り扱います。
- 3 評価基準におけるそれぞれの自己採点欄に、2つ以上の得点(数値)が記載されていた場合は、記載された数値の中で最も低い値を、自己採点の得点として取り扱います。
- 4 自己採点欄を空白とした場合は、空白となっている項目について得点を0点として取り扱います。
- 5 入札者名欄に入札者と異なる社名が記載されていた場合、当該入札において失格とはなりません。加算点を0点として取り扱います。なお、談合等の疑いがあるときは、調査の対象となる場合があります。
- 6 自己採点欄に記載された数値が判読できない場合(特殊なフォントを使用した場合などに生じるいわゆる「文字化け」も含む。)は、当該評価項目に対する得点を0点として取り扱います。ただし、ファイル全体を読み込むことができない等の場合は、発注者から自己採点表の再提出を求められることがあります。
- 7 自己採点の得点が、入札者から提出された技術資料を確認することによって発注者が確認した得点と異なっていた場合の取り扱いは次のとおりです。
  - (1) 入札者の得点が発注者の採点した得点より高かったとき  
→ 発注者の採点した得点の1/2を得点とします。  
(例) 入札者が記入した得点 3.0点  
発注者の採点した得点 2.0点  
→ 得点  $2.0 \div 2 = 1.0$ 点
  - (2) 入札者の得点が発注者の採点した得点より低かったとき  
→ 入札者の採点した得点とします。  
(例) 入札者が記入した得点 2.0点  
発注者の採点した得点 3.0点  
→ 得点 = 2.0点
- 8 自己採点表を入札の際に提出しなかった場合  
→ 当該入札において、失格となりませんが、加算点は0点として取り扱います。  
(入札が適正に行われていた場合は、標準点は与えられます。)
- 9 それぞれの評価項目に記載している配点のいずれかの点を自己採点欄に記入してください。

### 【参考例】

評価項目	評価基準	配点	自己採点	市の採点	得点
令和4年度以降(過去15年間)に発注された同種工事の施工実績の有無	矢板長22.0m以上の鋼矢板の油圧圧入工事の元請け実績あり	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
	矢板長11.0m以上の鋼矢板の油圧圧入工事の元請け実績あり	1.0			
	矢板長11.0m未満の鋼矢板の油圧圧入工事の元請け実績あり	0.5			
	上記のいずれにも該当しない。	0.0			

- 10 工事成績の平均点の端数処理は小数点第3位を四捨五入することとします。  
(例) 74点、76点、77点の3件の実績がある場合  
(74点+76点+77点) / 3件 = 75.666...点 → 75.67点